



フラワーバレンタイン推進委員会
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-6-17
山一ビル4F (財) 日本花普及センター内

報道関係者各位

**花贈りの達人:三浦知良選手、ジローラモ、夏木マリらが語る！
男性から女性へ花を贈る「フラワーバレンタイン2013」に向け、
花贈りハウツー本やコラボCDを発売！**

フラワーバレンタイン推進委員会(事務局：東京都中央区、会長：井上 英明)は、世界標準のバレンタインデーのあり方である“男性から女性への花贈り”を推奨するキャンペーン「フラワーバレンタイン」(後援：農林水産省)を企画提案し、全国約8千5百店の花店とその他多くの業界関係者の参加・協力を得て、2011年のバレンタインデーより取り組みを実施しています。

◆公式ホームページ：<http://www.flower-valentine.com/>

■Mr.フラワーバレンタイン：三浦和良選手から日本男性へのメッセージ！

「Mr.フラワーバレンタイン」として、“大人の花贈り”がライフスタイルの一部である“キングカズ”こと三浦和良選手に2012年からご就任いただき、今年も続投！公式ホームページや書籍、イベントを通じて日本の男性へ応援メッセージをいただいています。

●Mr.フラワーバレンタイン 三浦和良選手：

紹介URL：http://www.flower-valentine.com/mr_valentine



Mr.フラワーバレンタイン三浦和良選手
公式ホームページインタビュー記事

■全国約8千5百店の花店が協力！異業種コラボ企画も多数始動！

そして、3年目となる本年は、「フラワーバレンタイン、はじめます。」という新キャッチフレーズのもと、様々な異業種とのコラボレーション企画も進行中です。全国約8千5百店の花店で、キャンペーンポスターの掲示などフラワーバレンタイン売り場が立ち上がるとともに、コラボレーション企画である男性の花贈りを応援するハウツー本(オリジナル書籍)や、フラワーバレンタインをイメージした洋楽ラヴ・ソングを集めたコンピレーションアルバムを発売することにより、花店以外の書店やCDショップ、それらを扱うネットショップにおいても「フラワーバレンタイン」の認知拡大に向けアピールをしていきます。

<フラワーバレンタイン2013の新たなプロモーション企画のご紹介>



(1)



(2)



(3)

- (1) オリジナル書籍 『HOW TO 花贈り ～気持ちを花にのせて～』(朝日出版社)
男性の花贈りを応援するハウツー本が2月1日に発売。
(2月2日発売記念×フラワーバレンタインイベント実施予定(場所：代官山T-SITE))
紹介URL：<http://www.librazone.com/guest/flower-valentine/tieup/#02>

- (2) ユニバーサルミュージックとのコラボレーション企画、
人気洋楽ラヴ・ソングのコンピレーションアルバム『LOVE WORDS』が1月30日に発売。
(2月3日発売記念×フラワーバレンタインイベント実施予定(場所：表参道ヒルズ))
- (3) 人気脚本家・水橋文美江さん脚本によるフラワーバレンタイン・オリジナルショートムービーが
1月15日よりフラワーバレンタイン公式サイトおよびYouTubeにて配信開始。

■オリジナル書籍『HOW TO 花贈り ～気持ちを花にのせて～』(朝日出版社)
男性のための花贈りのハウツー本を制作！



日本の男性にももっと女性に花を贈ってほしい・・・！

そんな願いをこめて、フラワーバレンタイン推進委員会から花贈りのハウツー本(入門書)が発刊されます。

奥が深い花の世界についてはいったん置いておいて、まずは花店でスムーズに花を選び、購入できるよう、まずは花店選びのコツからご指南していきます。季節のおすすめの花やギフトをわかりやすく解説するとともに、彼女のタイプ別やシチュエーション別での花贈りのコツについても伝授します。巻末には、本から切り離して携帯でき、花店での購入で役に立つ「花束見本帖」を付録にしています。

また、「Mr. フラワーバレンタイン」の三浦知良さんの冒頭インタビューをはじめ、「ちょいワルオヤジ」代表のパンツェッタ・ジローラモさん、フラワーバレンタインアンバサダーとしてご活躍のファッションディレクター干場義雅さん他、贈られる女性の代表として夏木マリさんなど、花贈りの達人たちの

インタビュー記事も満載で、男性のみならず、パートナーを花男子にしたい女性にお読みいただいても参考になる楽しい内容です。

【『HOW TO 花贈り ～気持ちを花にのせて～』】

著者：フラワーバレンタイン推進委員会編

出版社：朝日出版社

価格：1,050円(税込)(オールカラー／120ページ)

発売日：2013年2月1日

■目次

第1章 デキる男は花を贈る

- ・スペシャルインタビュー：三浦知良さん
- ・花屋の社長の告白：井上英明さん

第2章 「My花屋」があれば大丈夫

- ・「My花屋」を見つけよう！
- ・「花を贈る男性はステキ！」500人の女子のリアルな声
- ・イベントにのって花を贈ってみよう！

第3章 「気持ち」を花にのせて

- ・大切な人に気持ちを伝える花贈り
- ・花屋さんであった本当の話
- ・フラワーギフトナビ ～彼女のタイプ別ぴったりの花は？

第4章 花屋さんで花がラクラク買える

- ・花屋さんに行くのが楽しくなる季節の花&ギフト
- ・花屋さんに行く前にイメージトレーニング！
- ・さあ、花屋さんで買ってみよう！

第5章 達人たちに聞く

夏木マリさん／パンツェッタ・ジローラモさん／干場義雅さん／
中江功さん／朝比奈悟さん／竜馬さん

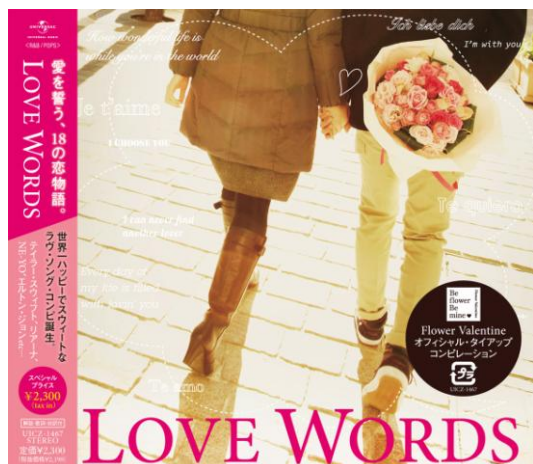
第6章 座談会「男の花贈り」ってどうですか？

女子の本音編／男子の本音編

*巻末 花束見本帖

■ユニバーサルミュージックとのコラボレーション企画

人気洋楽ラヴ・ソングのコンピレーションアルバム『LOVE WORDS』が発売(1月30日)



バレンタインデーに向けて企画された人気の洋楽ラヴ・ソングを集めたコンピレーションアルバム。言葉にできない愛の言葉を音楽に託して、そして花に託して伝えてほしい・・・というコンセプトで、フラワーバレンタインとのコラボレーションが決定！音楽と花が共通に持っているメッセージ性が、この企画の実現に至った理由です。

CDのジャケットにはフラワーバレンタインのカラーであるピンク色がアクセントに。CDの中には、フラワーバレンタインをご紹介するブックレットが封入されます。また、フラワーバレンタイン・オリジナルショートムービーのために書き下ろされたテーマ曲『flower valentine』（作曲・演奏ヴァイオリニスト竜馬）もボーナストラックとして収録されています。

紹介URL：<http://www.flower-valentine.com/tieup/>

【『LOVE WORDS』】

愛を誓う、18の恋物語。～世界一ハッピーでスウィートなラヴ・ソング・コンピ誕生～

定価：2,300円(税込)

品番：UICZ-1467

発売元：ユニバーサルミュージック

発売日：2013年1月30日

■人気脚本家・水橋文美江さん脚本によるフラワーバレンタイン・オリジナルショートムービーを制作！

1月15日より公式ウェブサイト、YouTubeで配信開始しました。



月9ドラマはじめ数々のヒット作を手がける人気脚本家・水橋文美江さんの脚本によるオリジナルショートムービーを制作！

フラワーバレンタインの素晴らしさをエモーショナルに伝える内容です(約3分)。

また、本ムービーのために、ヴァイオリニスト竜馬さんが書き下ろしたフラワーバレンタインテーマ曲『flower valentine』も、5つのカップルの物語を盛り上げてくれています。

1月15日から公式ホームページ(<http://www.flower-valentine.com/>)およびYouTubeで配信開始しました。

紹介URL：<http://www.flower-valentine.com/movie/>

<「ピクデコ」について>

また、ユーザー自身がオリジナルで自分の写真などを使い動画を作れるスマートフォン向けアプリ「ピクデコ」からフラワーバレンタインオリジナルテンプレートが配信されます。オリジナルショートムービーのようなドラマティックな動画が簡単にご自身でも作ることができます。さらに作った動画をプレゼントすることができます。

ピクデコについての詳細は以下のURLからご覧ください。

■ピクデコ：<http://picdeco.jp/> (NTTレゾナント株式会社提供)



◆「フラワーバレンタイン」とは

日本におけるバレンタインデーは、「女性から男性へチョコレートで愛を伝える日」とされ久しいですが、世界におけるバレンタインデーは、男女がお互いに愛や感謝の気持ちを伝えあう日です。欧米では、メッセージカードを交換したりするそうですが、あわせて、男性から女性に花（主に赤いバラ）を贈ることが最もポピュラーです。お隣の中国、台湾などでもバレンタインデーは男性から女性に花を贈る日として定着しています。

女性から男性へ、とっておきのチョコレートを贈る気持ちと同じように、男性から女性へちょっと勇気をだして愛する人のために選んだ花を贈ってくれたら・・・

フラワーバレンタインは、日本でも2月14日に本来のバレンタインデーの姿である“お互いが愛を伝えあう日”として、男性が自らの堂々と花を携えて女性に愛を伝えることができるよう、2月14日での男性の花贈りを応援するキャンペーンです。



(フラワーバレンタイン・ロゴ)

◆花き業界が一丸となって行う初めてのモデルケース

キャンペーンは、今まで各団体・企業がそれぞればらばらに行ってきた販売促進活動を集約し、各団体・企業から参加協賛金（1口1万円）を集め、これをもとに「バレンタインデー」にターゲットを絞って協同でプロモーションを実施する、業界初の画期的な試みとして平成22年度よりスタートしました。公的資金に頼らず、生産者、流通業者、小売店、その他業界関係者が自ら出資しあい、新しい花贈りの文化を創造していこうとするキャンペーンです。

参加者は所属に関係なく、統一の販売ツールを用いて販売促進を横断的に行うとともに、メディア等を活用した協同プロモーションを実施しています。

また、男性から女性へという今までのバレンタインデーとは全く逆の風習というだけでなく、花を持って歩くことも恥ずかしいと思う男性が多い我が国において、当初は、非常にハードルの高い目標設定と考えられていました。しかし、フラワーバレンタインのコンセプトが業界内に幅広く受け入れられ、昨年の2年目から全国に活動が波及し、各地で独自の取り組みが行われています。一方で、本キャンペーンが、業界が一つになるきっかけとなり、長びく経済不況により蔓延していた閉そく感を打破するものとして、期待感が高まっています。

さらに、業界外からも本キャンペーンのコンセプトにご賛同いただき、続々とお声掛けをいただき、様々なコラボレーション企画に発展しています。

なお、実際に花を消費者に販売をする今年の参加花き専門小売店は、のべ約8,500店を予定しています。これは、全国生花店の約3分の1（全国の花き専門小売店の総数＝約2万4千店（平成19年）・・・出所：経済産業省「商業統計表」より）に相当します。これらの店頭で店頭には統一のポスター、統一の商品タグを用いられ「男性から女性に花を贈る2月14日」のPR活動と商品販売が行われます。

◆フラワーバレンタイン推進委員会について

花き業界の有志により編成され、2010年11月9日に発足。バレンタインデーを新たな花きの需要期とするための取り組み「フラワーバレンタイン」を企画運営しています。

◆フラワーバレンタイン推進委員会 構成企業・団体

株式会社i879（インターネット花キューピット）、株式会社イーフローラ、インパック株式会社、MPS ジャパン株式会社、株式会社小田急ランドフローラ、ジャパンフラワーネットワーク株式会社、株式会社ゼントクコーポレーション、第一園芸株式会社、株式会社ディノス（フジテレビ フラワーネット）、株式会社東光フローラ、株式会社パーク・コーポレーション、株式会社日比谷花壇、一般社団法人日本生花通信配達協会、一般社団法人日本花き卸売市場協会、一般社団法人日本種苗協会 花き部会、一般社団法人全国花卸協会、一般社団法人日本フローラルマーケティング協会、社団法人日本花き生産協会、日本花輸出入協会、協同組合全国花材流通協会、財団法人日本花普及センター



(フラワーバレンタイン2013ポスター)